

【評価の基準】◎：肯定率3.5以上 ○：肯定率3.2以上 △：肯定率3.2未満 【アンケート結果】4：たいへんよい 3：よい 2：あまりよくない 1：よくない

項目	小項目	評価の内容	学校による考察・改善点	評価資料	評価	アンケート結果 %				肯定率	R3 肯定率
						4	3	2	1		
教育計画（重点目標）	知恵の教育の推進	1 学習指導要領全面実施に伴い、指導内容と授業時数は、年間計画どおりに実践できている。	・新型コロナウイルス感染症対策は、継続して行っている。通常の学習内容及び授業時数によって、年間計画どおりに実施することができた。	教職員アンケート	○	54	41	5	0	3.49	3.16
		保護者アンケート									
		児童アンケート									
	2 自分で自分の学力を伸ばそうとする態度の育成に取り組む。	・学習指導要領の掲げる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を一層進めるとともに、朝のいきいき学習に主体的に取り組ませたり、自主学習の取組を学級で紹介したりするなど、自分で課題を見付けることを重視し、各教科の基礎的な内容の定着に努めた。	教職員アンケート	◎	77	23	0	0	3.77	3.09	
	保護者アンケート	○	44	51	5	0	3.39	3.52			
	児童アンケート	○	54	37	7	2	3.43	3.47			
	3 学年で家庭学習の時間のめやすを設定し、学習習慣の定着を図る。 ＜低学年：30分・中学年以上：学年×10+10分＞	・家庭学習に意欲的に取り組む児童が多い反面、取り組みにくい児童との両極化が広がっている。今後も自主学習への意欲を更に高めていくための工夫に努めていきたい。	教職員アンケート	○	43	57	0	0	3.43	3.14	
	保護者アンケート	○	41	49	9	1	3.30	3.35			
	児童アンケート	○	51	35	12	2	3.35	3.50			
	心の教育の推進	4 道徳の時間を確保するとともに、全教育活動において道徳教育を行うよう努めている。	・二者ともに高い評価である。道徳科の教科化に伴い、研修の機会も増え、道徳科の授業実践や評価の工夫などの充実が図られてきている。今後も全ての教育活動の中で児童の道徳性を養い、道徳的実践力が身に付くよう取り組んでいきたい。	教職員アンケート	○	41	59	0	0	3.41	3.34
保護者アンケート		○	42	52	6	0	3.36	3.33			
児童アンケート											
5 自他の人権や生命を大切にし、思いやる心が育っている。		・児童と向き合う時間が確保され、児童の心の変化やトラブルにきめ細かな対応をすることを心掛けた。児童も、他者を思いやる言動が増えつつある。しかし、些細なトラブルは日常的に起こっており、今後も指導の強化に努めていきたい。	教職員アンケート	◎	54	46	0	0	3.54	3.08	
保護者アンケート		○	42	52	6	0	3.36	3.39			
児童アンケート											
6 互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めている。		・日頃から積極的な指導や誠実な取組を心掛けている。しかし、児童からは否定的な意見もある。今後も、全教育活動をとおして、児童一人一人に目を向けた指導に努めていく。	教職員アンケート	◎	54	46	0	0	3.54	2.88	
保護者アンケート											
児童アンケート	◎	69	26	4	1	3.63	3.71				
7 一人一鉢栽培や飼育活動に熱心に取り組む児童が育っている。	・毎朝、全校で熱心に水やりを行っており、動植物を大切に育てようという心情が徐々に育ちつつある。今後も、心を込めて世話ができるように声掛けしていきたい。	教職員アンケート	○	46	54	0	0	3.46	2.84		
保護者アンケート											
児童アンケート	◎	82	15	2	1	3.78	3.30				
体の教育の推進	8 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。 ＜「保健だより」や「こころの健康通信」を活用して＞	・生活のリズムを崩しがちな児童も見受けられるが、家庭の協力の下、朝食の習慣が身に付いていることを感じる。休日前後の早寝早起きの習慣については引き続き指導し、家庭の協力を得ながら生活リズムが整うように努めていきたい。	教職員アンケート	△	41	41	5	13	3.10	2.42	
	保護者アンケート	△	32	51	16	1	3.14	3.20			
	児童アンケート	○	51	35	9	5	3.32	3.33			
	9 体育の授業が充実している。 ＜おはようマラソン＞	・今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、朝マラソンの実施が冬季からになったが、体育科の授業を充実させるために研究に努め、水泳、陸上等の活動は、ほぼ例年どおりできた。今後も、児童の体力向上に向け、指導の工夫、改善に努める。	教職員アンケート	○	32	68	0	0	3.32	2.95	
	保護者アンケート										
	児童アンケート	◎	76	19	4	1	3.70	3.73			
10 外遊びや個に応じた体力づくりができている。	・感染症対策に配慮しながらも、昼休みなどには多くの児童が運動場に出て、元気よく遊ぶ姿が見られた。各学級においても、全員遊びの日などを設定し、みんなで仲良く遊ぶことができている。引き続き、外遊びと体力づくりを奨励していく。	教職員アンケート	○	32	68	0	0	3.32	3.04		
保護者アンケート	○	40	49	11	0	3.29	3.26				
児童アンケート	○	56	25	12	7	3.30	3.39				

項目	小項目	評価の内容	学校による考察・改善点	評価資料	評価	アンケート結果 %				肯定率	R3 肯定率
						4	3	2	1		
生徒指導	生徒指導の徹底	11 元気で気持ちのよい挨拶ができる児童が育っている。	・家庭や地域の方の声掛けなどの協力を得て、指導の成果が現れ始めている。また、運営委員会等による挨拶運動や放送等の働き掛けも効果が見られた。引き続き、気持ちのよい挨拶のできる児童を育てていきたい。	教職員アンケート	○	33	59	4	4	3.21	2.62
		保護者アンケート	○	49	44	6	1	3.41	3.51		
		児童アンケート	◎	64	29	5	2	3.55	3.45		
	12 いじめ・不登校の早期発見・早期解決に努めている。	・「いじめは絶対に許さない。」という基本姿勢に立ち、全教職員で指導している。アンケートや教育相談などを基に、些細な問題に目を向けて対応し、いじめにつながらないようにするとともに、児童が相談しやすい関係や雰囲気をつくっていききたい。	教職員アンケート	◎	64	36	0	0	3.64	3.35	
		保護者アンケート	○	39	49	10	2	3.25	3.25		
		児童アンケート	◎	89	10	1	0	3.88	3.91		
	13 共通認識の下、組織的な指導がなされている。	・職員会議や生徒指導部会で児童の生活の様子等を情報交換している。様々な問題に対してその都度どのように対応していくかを話し合い、指導の重点化を図り、全教職員で意識統一して指導に当たることができている。	教職員アンケート	◎	61	39	0	0	3.61	3.22	
		保護者アンケート									
		児童アンケート									
特別支援教育	14 教職員の共通理解と協力体制の下、特別な教育支援を要する児童への適切な支援ができている。	・特別支援学級の授業を公開したり、定期的に情報交換の場を設けたりするなどして、特別支援学級に在籍している児童についての理解を深めている。また、通常学級における特別支援教育の充実を図るために研修を重ね、児童一人一人に合った適切な支援ができるよう努めている。	教職員アンケート	○	42	58	0	0	3.42	3.23	
		保護者アンケート									
	15 関係諸機関との連携を図ることができている。	・特別支援教育巡回相談等、専門機関に、実際に配慮を要する児童について、児童理解や適切な支援等の指導を全教職員が受けている。また、配慮を要する児童への具体的支援について、関係機関と連携し、連絡会議等をもちながら適切に対応できるよう努めている。	教職員アンケート	○	45	55	0	0	3.45	3.20	
保護者アンケート											
児童アンケート											
研修	16 授業改善に積極的に取り組み、一人一人を大切にしながら分かる授業に努めている。	・全教員が共通理解の下、「学習課題の提示・確認、対話活動の重視、授業の終末のまとめ」を大切にしながら授業改善を進めてきた。今後も、教員が日々の授業を振り返り、授業改善に取り組む中で、よく分かる授業に努めていきたい。	教職員アンケート	○	39	61	0	0	3.39	3.13	
		保護者アンケート	○	37	51	11	1	3.24	3.27		
		児童アンケート	◎	75	21	2	2	3.69	3.70		
	17 一人一人が意見を出し、学び合い高め合う校内研修が実施されている。	・研究授業後の協議で多くの教員が意見を出し合い、学び合い高め合っている。今後、その他の校内研修でも研修の在り方を考え、充実した研修になるよう努めたい。	教職員アンケート	○	35	61	4	0	3.31	2.97	
		保護者アンケート									
児童アンケート											
18 信頼され実践的指導力のある教師として、自主的に資質向上に努めている。	・生徒指導、学校行事等の運営、提出文書や事務作業等で多忙な中、業務改善が進まないが、教職員一人一人が自主的に資質向上に努めている。学年で教科等の情報交換や教材研究に取り組み、授業準備をするとともに、更に共有化と効率化に努めたい。	教職員アンケート	○	29	67	4	0	3.25	2.92		
	保護者アンケート										
児童アンケート											
19 服務規律を遵守し、個人情報の流出防止や交通事故・違反の撲滅に努めている。<校長室だより、交通安全推進>	・校長室だよりや交通安全推進協議会だよりを基に、交通安全や服務規律について定期的に話し合う場を設け、教育公務員としての自覚と責任を促している。特に危機感をもって、個人情報の流出防止や交通事故・違反の撲滅に努めている。	教職員アンケート	◎	67	33	0	0	3.67	3.46		
	保護者アンケート										
	児童アンケート										

項目	小項目	評価の内容	学校による考察・改善点	評価資料	評価	アンケート結果 %				肯定率	R3 肯定率
						4	3	2	1		
安全管理・施設設備	安心・安全な学校づくり	20 避難訓練・防犯訓練等を適切に実施し、児童に適切に行動できる安全対応能力が育っている。	・本校の実態に合った避難訓練が適切に実施され、今年度は3回行った。避難訓練で学んだことを家庭とも共有して、安全に避難行動が取れるようにしていく。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ △ ○	46 31 -	54 55 -	0 13 -	0 1 -	3.46 3.16 -	3.19 3.27 -
		21 教材教具の活用と管理を一人一人の教職員が心掛けている。	・教材・教具は各主任が責任をもって管理している。今後も、更に活用しやすいように工夫していきたい。また、タブレット等のICT機器の活用の仕方について、更に研修を深めたり情報交換をしたりして、有効的かつ積極的に授業等で活用していきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	50 -	46 -	4 -	0 -	3.46 -	3.12 -
		22 目が向き、心が動き、ゆとりと潤いが生まれる教室環境・校内掲示や外環境の整備と充実が進んでいる。	・一人一鉢の栽培活動や、各学年や委員会による掲示物や図工作品の展示など、児童の感性を培う教育環境の整備に努めている。今後も、美しい環境から情操教育を高めていきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	43 -	57 -	0 -	0 -	3.43 -	3.00 -
		23 安全点検の日常化が図られ、安全で安心な学校の施設・設備になっている。	・毎月の定時安全点検日に教職員が各担当場所を点検・報告し、係が取りまとめて修繕を行っている。日々の常時安全点検においても、児童の目線に立てるよう心掛けている。また、全教職員が危機管理の意識を高めて、防犯対策を周知、徹底していく。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	42 40	58 53	0 6	0 1	3.42 3.32	3.15 3.31
		24 職員室、各教室において用紙の節約、電力消費の節約（照明、冷暖房等）など環境に配慮した省エネ活動を一人一人の教職員が心掛けている。	・用紙は、教職員用のみ裏面リサイクルに取り組んでいる。更なる節約やごみの減量化など、継続して取り組んでいきたい。エアコン利用については、換気をしながらの冷暖房となるので、節電のため、児童下校後は教室の電気を使用せず、職員室で事務を行っている。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	38 -	62 -	0 -	0 -	3.38 -	2.81 -
業務改善	業務改善	25 長時間勤務を減らすために業務を見直したり、業務を効率よく行うための取組が実施されている。	・行事等の精選やその取り組み方の見直しを図ってきた。また、職員会議や校内研修会の効率化を図るなど、学校全体を通じて長時間勤務を減らそうとした業務内容の見直しを進めている。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	35 -	52 -	13 -	0 -	3.22 -	3.07 -
		26 早く帰れるように時間を意識して業務に取り組むことを心掛けている。	・効率的に日々の業務を進め、私生活の時間にもゆとりをもてるよう努めている。しかしながら放課後の時間に対して業務量が多く、一層の業務削減が必要である。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	48 -	48 -	4 -	0 -	3.44 -	3.26 -
		27 児童と向き合う時間や教材研究・授業準備の時間がとれていると感じる。	・日々の授業以外にも様々な業務を抱え、本来向き合うべき児童との時間や教材研究の時間が十分にとりにくい現状の中、教職員が工夫しながら取り組んでいる。今後も松前町教育委員会と連携を図りながら、より抜本的な業務改善に取り組むたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	△ ○ ○	22 -	69 -	9 -	0 -	3.13 -	2.75 -
保護者・地域住民との連携	地域に根ざした開かれた学校づくり	28 地域の人材や教育資源を生かした教育活動や公民館等の各組織との連携に努めている。	・昨年度に比べ、5年生の米づくりや様々な学年の校外見学など、各教科や総合的な学習の時間において、地域の方々の協力を得ながら有意義な学習活動を行うことができた。来年度も、できる範囲の中で、地域の協力を得ながら、活動を進めていきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	32 44	68 51	0 4	0 1	3.32 3.38	3.17 3.51
		29 学年だより・学校通信・ホームページ等で学校の情報を工夫して積極的に発信し、家庭・地域との連携に努めている。	・学年・学級のたよりや学校通信だけでなく、ホームページでもその時々学校の様子が分かるよう、積極的な発信に努めてきた。今後も、保護者や地域の方の要望を取り入れながら内容を充実させ、情報発信していきたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	◎ ◎ ○	55 56	45 40	0 3	0 1	3.55 3.51	3.15 3.57
		30 保育所や幼稚園、中学校との連携が図られている。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も1年生と未就学児の交流ができなかった。卒業を控えた6年生は、中学校との連絡会や説明会などを通して連携を図っている。今後も必要に応じて情報交換をし、より一層の連携が図られるようにしたい。	教職員アンケート 保護者アンケート 児童アンケート	○ ○ ○	35 -	50 -	15 -	0 -	3.20 -	2.91 -